

日ごろのつながりの大切さを実感しています。

5年目になり仕事の内容も分かってきて、地区や福祉の場で多くの人とつながりができました。

私が担当する地区は、一人暮らしの高齢者など要援護者の皆さんが比較のお元気で、関係機関や隣組の人たちなどと連携した訪問活動をしています。また、子どもの見守り活動もしています。

昨年8月の大雨で三郷地域の水道が断水した時には、一人暮らしだったり、移動手段がなかったりして、給水所へ行けない要援護者のお宅へ飲料水を配りました。私たちと地域の皆さんが協力してスムーズにでき、日ごろのつながりがいかに大切かを実感しました。



曾根原東洋子(三郷明盛)
三郷地区民生児童委員協議会副会長



増田早苗(豊科高家)
豊科地区民生児童委員協議会会長

自分を大切に、困ったときは声をあげて欲しい。

担当する地区は、団地のため同世代が多く、今は子どもが独立し、高齢者のみの世帯や一人暮らしの割合が多い地区です。こうしたお宅には、私たちが訪問や声掛けするほか、災害など万が一に備えて、普段から近所の人に見てもらったり、気付いた点を連絡したりしてもらおうようにしています。

子どものころ戦争を経験しているせいでしょうか、命の大切さをとても感じています。自分から悩みを話せない人もいますが、自分を大切に、困ったときは小さなことでも話してもらえたらと思います。

相談・支援が必要な人の実態把握が欠かせません。近所でも気づいたことは、気軽に連絡を

私たち民生委員・児童委員は、隣人愛の精神のもと、地域の社会福祉のため、市民と福祉行政、関係機関とのパイプ役を担っています。その歴史は、大正時代に岡山県・大阪府で生活困窮者救済のため調査活動をした制度が始まりとされています。

近年、生活の多様化、人間関係の希薄化により相談・支援が必要な皆さんの実態把握が困難になっていきます。私たちは活動にあたりプライバシーや人権に配慮し守秘義務が法律により厳しく定められています。強制的に調査することはできません。当事者からだけでなく、近所地域の皆さんからも気がついた



安曇野市民生児童委員協議会
会長 松嶋隆徳(明科七貴)
明科地区民生児童委員協議会会長

ことは、ぜひお近くの民生委員・児童委員へご連絡ください。こうした情報が、児童虐待や、高齢者やひとり暮らしの孤独死などの防止や早期発見につながります。私たちの仕事は複雑多岐にわたります。近年は対応が難しい事例も多くなっており、協議会内での事例研究や情報交換、専門性を高めるための研修会や学習会を適宜行っています。委員の間でもこの仕事の重要性を互いに確かめ合い、励まし合い協力しながら、市民の皆さんが気軽に相談できる窓口となるよう努めてまいります。

こんな時は悩まず

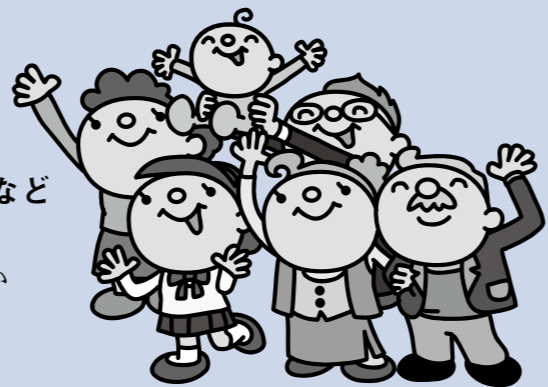
お近くの民生委員・児童委員にご相談を

民生委員・児童委員は、お互いの支え合いを通して、誰もが住みよいまちになるよう目指しています。市民の立場に立ち一人ひとり思いを大切にその人らしい生活が送れるよう心配ごとの相談に応じます。

【相談事例】

高齢者が一人暮らしで心配、子育てに悩んでいる、生活などで困っている、子どもの非行・不登校に悩んでいるなど

各地区を担当する民生委員・児童委員がご不明な場合はお問い合わせください。担当の民生委員・児童委員をご紹介します。



☑お住まいの地域の各総合支所市民福祉課

または穂高健康支援センター内社会福祉課 (TEL 81・0716 FAX 81・0703)

「ありがとう」のひと言に元気をもらっています。

主任児童委員は、18歳以下の子どもと子育てに悩む人の相談・支援などを行っています。子どもたちが健やかに育っていくには、抱えている問題を早期発見することが大切です。しかし、今は昔より地域の人間関係が希薄なため、なかなか実態をつかめないのが実情です。

ある事例では、直接、家庭からの相談でなく近所の人がある子どもやその家庭の変化に早めに気づいて地区を担当する民生児童委員を通じ、私に連絡があり学校などと協力し対応した例があります。



荒深たつ子(穂高柏原)
主任児童委員

地域の皆さんがひとつの線につながり対応したことで、大事に至らずその子どもと両親は前に一歩進んで行くことができました。

児童館や保育園へも行きませんが、訪れるお母さんも、家族に話せず子育ての不安をひとりで抱えている場合があります。たったひと話し掛けただけでも「気持ちが悪くなった」と言ってくれた言葉が印象的でした。

かかわった皆さんから「ありがとう」のひと言をもらった時、この仕事をしていてよかったと感じます。その言葉と笑顔に元気をもらっています。